

大切な宝物

六組 子ンネンシ

みなさんにとっ、世界の中で一番大切な

ことまはものは何ですか。「家族」とが

友達」とが「夢」とが「仕事」と分いういろ

な答元です。でも、私の大切なものは

ちよっとみんなと違いまう。それは私が人生

で悲しかった時救ってくれた私のたからもの

です。

何年前に大学も卒業した後で社会人だ」と

いうのに私は仕事のことに行き詰まっ、乙

将来が不安になり、落ち込んでいました。病

気や人間関係やいろいろいな問題が生じまし

た。あの時私の恋人は私をはずしてくれま

した。毎日大変忙しい生活を過ごしていまし

た。ある日、動物病院でドアの上に貼られた

「かわいいねこを引き取る人、募集中心」と

いう紙を見ました。「ねこと一緒に遊ぶのも

いいな。」と思っ、乙病院の中に人りました。

ねこはみんな楽しそうにおもちや遊んでいま

した。すみの一重まぶたの白いねこと私は目を
が合いました。ねこは「ニヤー」と呼びまし
た。「おがしい声だね」と思っ、「お交
たこそ！」と、いらい氣持ちになりました、私は
ねこをつれづれちへ帰りました。名前が「福
ちゃん」と付けこせりました。
あの時、お医者さんはこのねこについて紹
介しました。この子は小さい時お母さんと別
れ、兄弟と一緒にのら猫でした。人間に虐待
され、たことかあるがもしれせん。ごすから、
人間を非常に恐れます。「この子も飼うのは
忍耐力が必要ですよ！人間が信じられませ
んからね。」とお医者さんはにっこりして言
いました。「この子に人間を信じる心を回復
させたい！」と思っ、こ私も心を決めました。
始め、私達は相手に慣れ、のこに長い時間
がかりました。私はペットを飼うにはどうす
ればいいのか、インターネットで調べ勉強しま
した。約二か月後、福ちゃんを私は抱かぬこ
と一緒に寝ることかでき、よるよるになり、とこ

うれしかっただです。あの時の私は福ちゃんのお
おかげであまり病気にならなくて毎日とても
楽しいらえに仕事もだんだん順調になりましたし
た。私はばかりでなく、恋人も愛りました。短
気を彼にねこの世話をしたといと言われとび、
くりしました。毎日二人とも笑顔でいられる
ようになりました。携帯の中はいっぱいねこ
の写真です。
小さくいへやでしたが、福ちゃんと一緒に住
んでもう一人じやなくて、心がだんだん晴れ
ました。毎日元気よく仕事をしと、生活もよ
くなり、前よりもっと自信が持てるようになった
けれど、時々やはり悲しいことがあって心
を痛めて、涙を流すと福ちゃんは私を慰めて
くれました。ただ福ちゃんも見てくれるだけで
私とても幸せだと思いました。
今、私は将来のためには日本へ来て日本語を
勉強していきます。福ちゃんからはなれて、
寂しいです。福ちゃん、私在家へ帰るまでい
い子で待っていてね。私の大切なたからもの

りました。

の福也。家。漏。古。一。生。女。た。か。ら

は。な。れ。な。よ。